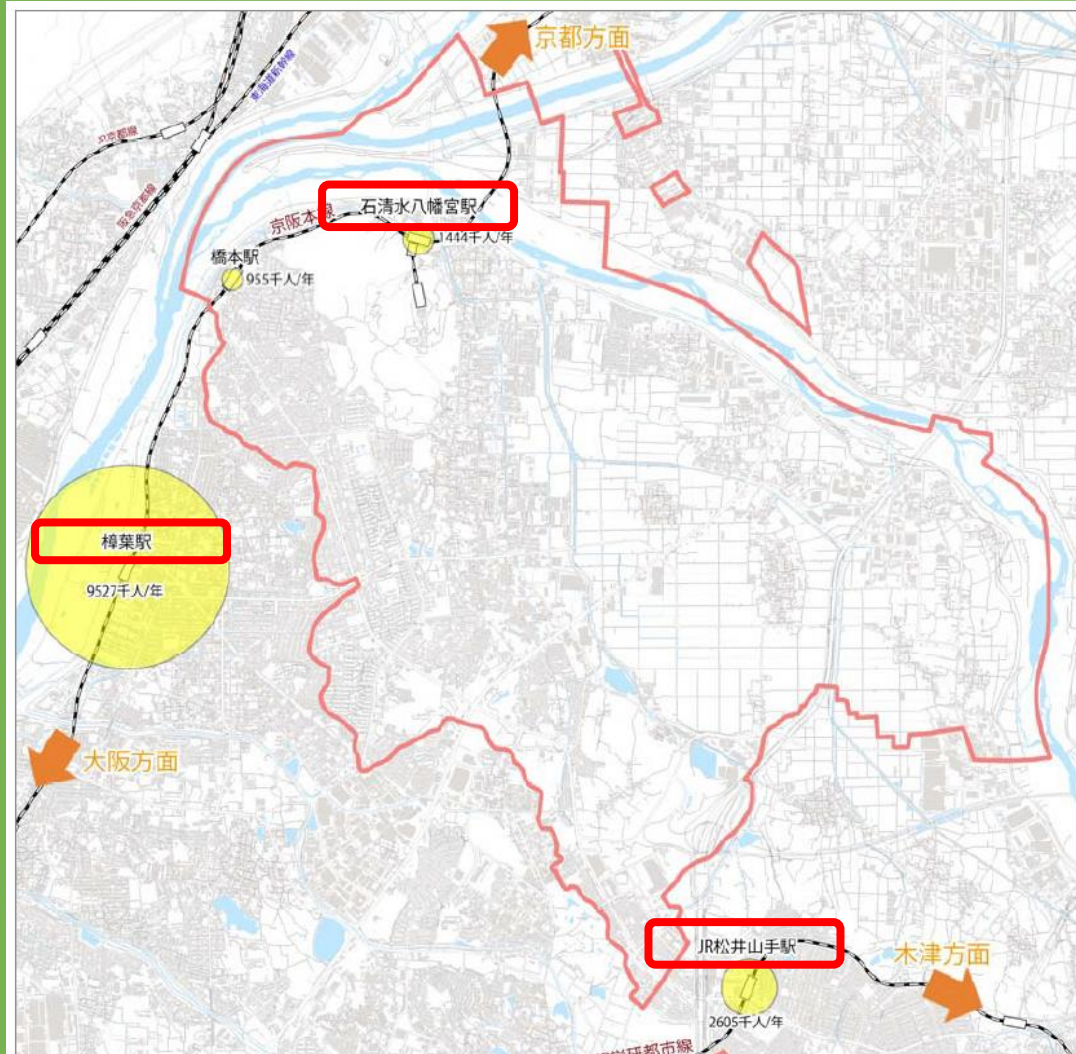


# 市内公共交通の現状について

令和5年8月25日（金）  
八幡市 建設産業部 管理・交通課



# 公共交通の整備状況



【出典】八幡市地域公共交通計画（抜粋）

## 【鉄道】

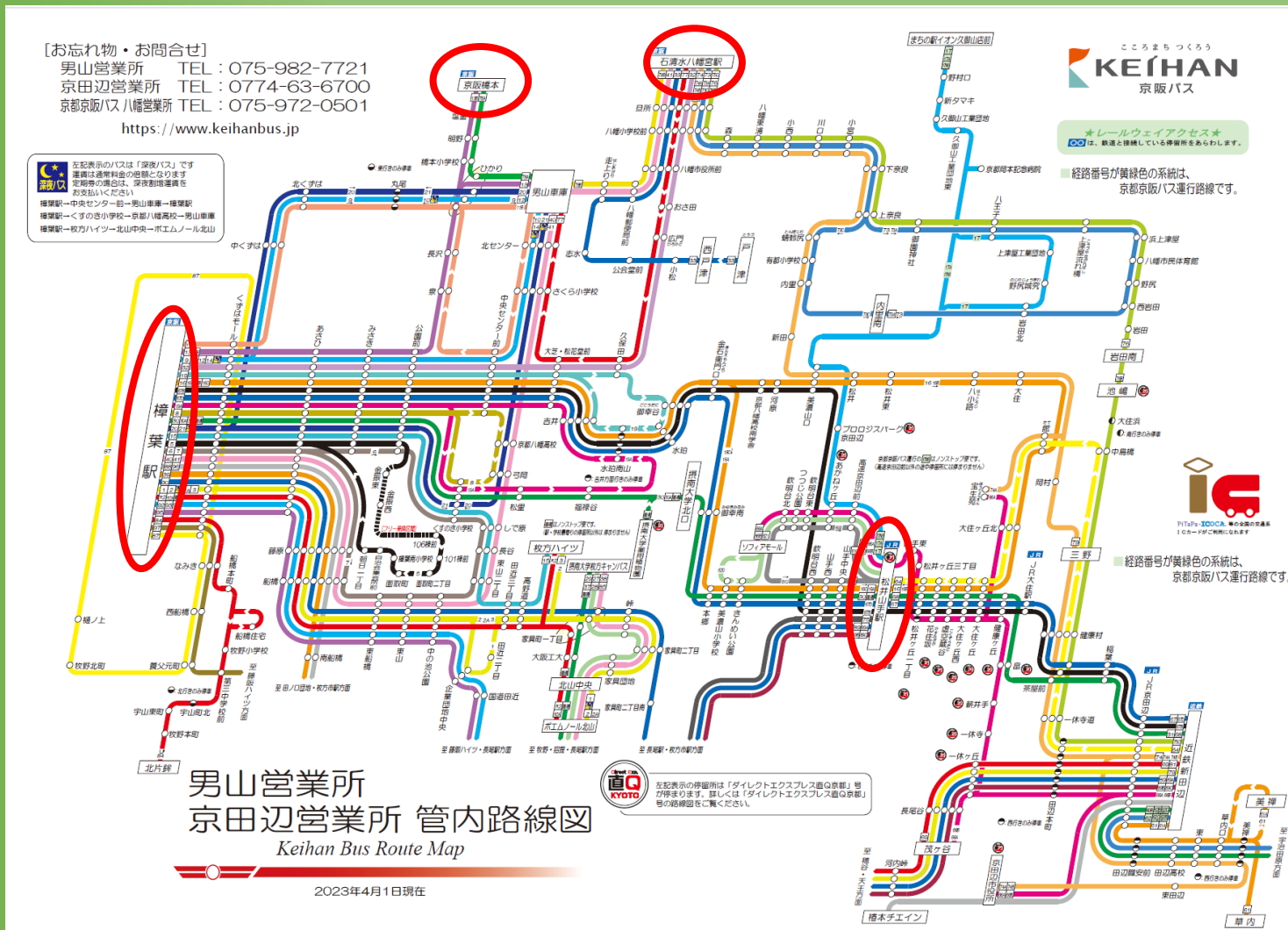
- 北部には京阪本線の「石清水八幡宮駅」と「橋本駅」
- 西部には同線の「樟葉駅」
- 南部にはJR学研都市線の「松井山手駅」



# 公共交通の整備状況

## 【路線バス】

- 京阪バス・京都京阪バスが運行。鉄道駅を中心に市街地のほぼ全域をカバー。
- 男山地区や欽明台地区では、市内の駅ではなく、樟葉駅あるいは松井山手方面へのバス路線が多く設定。



【出典】京阪バスHPより (<http://keihanbus.jp/sp/>)



# 公共交通の整備状況



## 【コミュニティバス】

- 橋本西山本 ⇄ 市民体育館
- 全長：16.6km
- 1日20便（10往復）





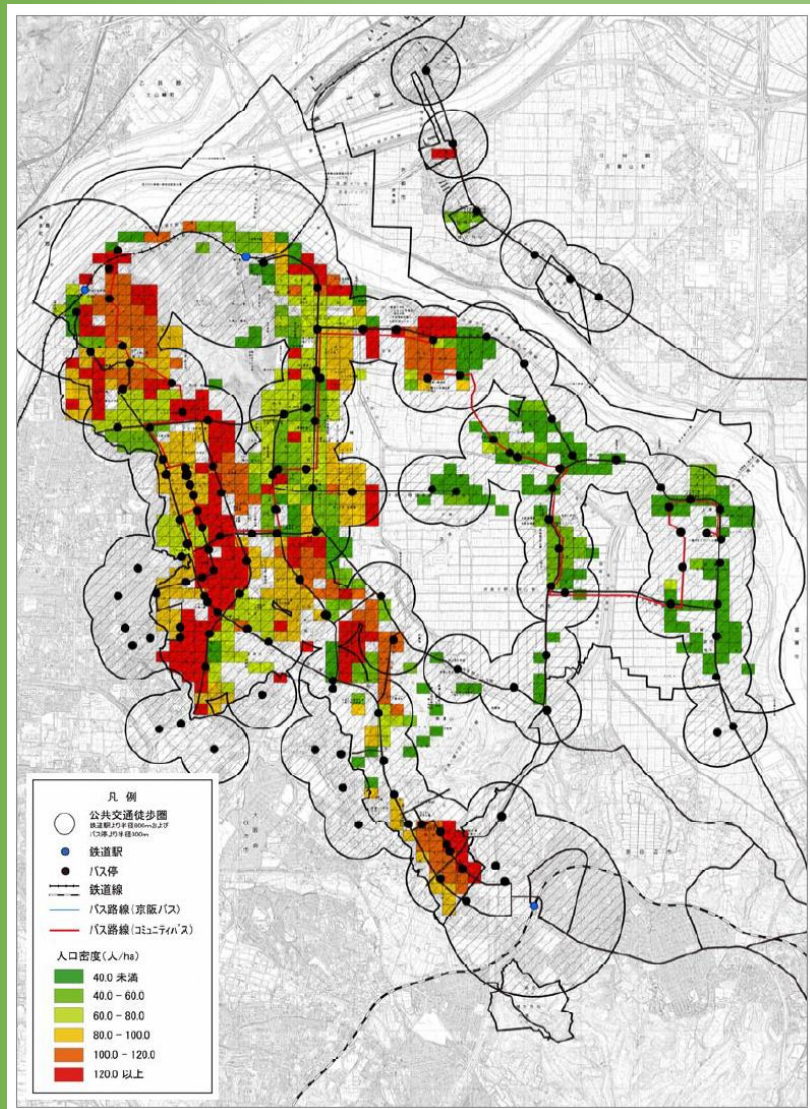
# 公共交通のサービス水準

## 【公共交通の徒歩圏域】

- 公共交通の徒歩圏域は居住地域のほぼ全域をカバーしており、公共交通空白地はほとんどありません。

※公共交通空白地とは

駅から半径500m以上、バス停から半径300m以上（【参考】地域公共交通づくりハンドブック）



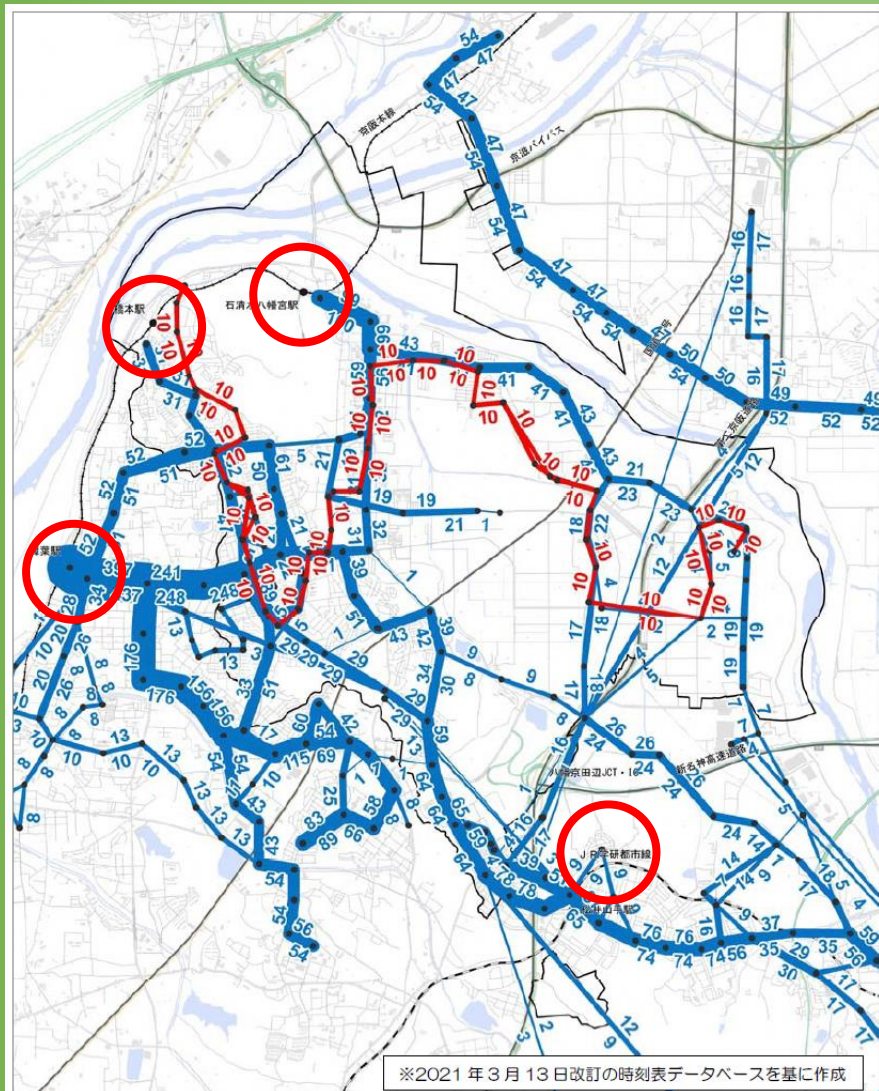
【出典】八幡市地域公共交通計画（抜粋）



# 公共交通のサービス水準

## 【運行頻度】

- 市内では石清水八幡宮駅や橋本駅、市外では樟葉駅や松井山手駅へ接続する路線を中心に、高頻度でバスを運行





# コミュニティバスの利用状況



運行当初と比較すると順調に利用者数を伸ばしている。R1には1便あたり14.0人。コロナ禍により、利用者数が減少に転じたものの、ピーク時の9割程度まで回復。



【出典】委託事業者からの報告を基に作成